

いわて高等教育コンソーシアム地域研究推進委員会
東日本大震災12年後の現状～陸前高田市視察～

『趣旨』

いわて高等教育コンソーシアム地域研究推進委員会は、新型コロナウイルス感染症のため令和2年度から令和4年度まで活動を休止しておりましたが、令和5年度より感染症法上の位置付けが新型インフルエンザ等感染症（2類相当）から5類感染症に引き下げられたことを受け活動を再開することとなりました。地域研究推進委員会では、発足当初より東日本大震災の震災復興に係る調査研究と各種支援事業を行ってきました。平成23年には「文化財チーム」「図書館チーム」が発足し、文化財保護や公文書保存に関する支援活動に取り組み、平成30年度には「震災後の岩手県公文書保存を考える」と題し釜石市と遠野市の取り組みを視察する活動を行いました。活動再開の第1回目となる今回は、これらの事業を引き継ぎ、震災12年後の陸前高田市の現状を岩手県指定有形文化財「旧吉田家住宅主屋」を中心に視察して参りました。

「行程」

参加者 いわて高等教育コンソーシアム地域研究推進委員会 10名

行程 令和5年10月6日（金）

9：00	盛岡駅西口貸し切りバスにて陸前高田市へ出発
11：00	陸前高田市東日本大震災津波伝承館着 視察
13：00	陸前高田市民文化会館講義「旧吉田家住宅主屋復旧の歩み」 陸前高田市教育委員会管理課文化財係 学芸員 曳地隆元氏
14：10	施設見学 「旧吉田家住宅主屋」
16：00	陸前高田市出発
18：00	盛岡駅西口着 解散

「内容」

1 陸前高田市東日本大震災津波伝承館 視察

命を守り、海と大地とともに生きる～二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために～をコンセプトに設置された伝承館です。ゾーン1「歴史をひもとく」津波災害を歴史的・科学的視点からひもとき、古来、育まれてきた知恵や技術、文化を見つめ直し自然とともに暮らすことを改めて考えます。ゾーン2「事実を知る」被災した実物や被災現場の写真、被災者の声、記録などを通し東日本大震災の事実を見つめます。ゾーン3「教訓を学ぶ」逃げる、助ける、支えるなど、東日本大震災津波の時の人々の行動をひもとくことで、命を守る教訓を共有します。ゾーン4「復興を共に進める」国内外からの多くの支援に対する感謝の気持ちとともに、東日本大震災津波を乗り越えて前へ進む被災地の姿

を伝えます。以上4ゾーンを視察いたしました。

2 講義「旧吉田住宅主屋復旧の歩みについて」

陸前高田市教育委員会管理課文化財係 学芸員 曳地 隆元 氏

場所を陸前高田市民文化会館に移し「旧吉田住宅主屋」について講演をいただきました。その際、陸前高田市教育委員会教育長がご挨拶にお見えになりました。

・内容

- ① 現在の陸前高田市の概要
- ② 明治、大正、昭和の陸前高田市の概要
- ③ 震災前の街並み
- ④ 今泉村絵図
- ⑤ 今泉の始まり
- ⑥ 「大肝入」とは
- ⑦ 吉田家住宅

・岩手県指定有形文化財（建造物）・吉田家住宅の被災状況・部材の収納・回収部材の安定化、安定化处理・埋蔵文化財調査（遺構）埋蔵文化財調査（遺物）・高台から住宅跡と気仙川を望む・岩手県指定有形文化財（建造物）・復旧方針1～5・支援の広がり・今後の予定

以上のような講演内容でした。震災当時から現在の状況まで詳しく旧吉田家住宅主屋の復旧状況についてご説明いただきました。



3 岩手県指定有形文化財 旧吉田家住宅主屋 視察

さらに場所を旧吉田家住宅主屋に移し、気仙大工棟梁より気仙大工左官の技で甦る仙台藩大肝入屋敷と題し約1時間30分に渡り詳しく現場を見ながら復旧状況を視察しました。

・吉田家の歴史

吉田家の初代大肝入吉田宇右衛門（筑後）は、元和6年（1620）、仙台藩祖伊達政宗より気仙郡24箇村の大肝入に任命されました。仙台藩の大肝入は、地方（じかた）役人の中でも最上位に位置する役職であったため、地方きっての有力者が選ばれました。十代吉田宇右衛門は、明治4年に気仙郡長を務めています。

- ・文化財指定状況

平成 18 年 9 月 26 日

附属屋を含む 1 件 4 棟が「吉田家住宅」として岩手県指定有形文化財（建造物）指定

平成 30 年 12 月 7 日

附属屋 3 棟の指定を解除し、名称を「旧吉田家住宅主屋」に変更

- ・復旧への道程

復旧事業では、津波で被災した部材を使用します。このことは世界にも例を見ず、部材の回収から使用箇所の特定、洗浄、補修、代替となる部材の製作などに膨大な時間と作業を要します。

- ・建築概要

- ① 構造 木造二階建て
- ② 屋根形式 寄棟造、茅葺
- ③ 敷地面積 6560.08 m²
- ④ 建築面積 264.89 m²
- ⑤ 完成予定 令和 7 年 3 月



以上、いわて高等教育コンソーシアム地域研究推進委員会による東日本大震災 12 年後の状況～陸前高田市視察～の報告をいたします。

令和 5 年度いわて高等教育コンソーシアム
地域研究推進委員会主務校 盛岡大学